

学校経営の基本理念

「子どもが主体的に学び、多様性を認め合い、互いに高め合える教育」を目指し

- 1 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし、多様な人々との協働を促す教育の充実
- 2 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる教育活動の条件整備の推進
- 3 「地域の学校」という公立学校の特徴を生かした連携・協働の推進
- 4 学校の組織的実践力「学校力」の向上

*主体的に学びとは、学ぶことに興味や興味関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること

目指す学校像

- 1 人権尊重教育を推進し、子ども一人一人が良さを発揮し、主体的、協働的、創造的に活動する学校
- 2 子供が生涯にわたって学び続けるために必要な意欲や学び方など、学習の基礎・基本を確実に身に付けられる、授業が充実した学校
- 3 家庭・地域社会との相互理解・協力を図り、学校の役割を果たし、安心安全な学校
- 4 教職員がそれぞれウェルビーイング※を考えながら、教育活動の充実のために指導力を磨き、協力して組織的に教育活動を展開できる学校

学校教育目標 いのちを大切にし、ともに輝き生きていこう

◎かしこく（知）

主体的に学び、協働して考え表現する子

なかよく（徳）

互いに認め合い、思いやりのある子

たくましく（体）

心と体の健康を考え、粘り強い子

子どもが主体的・協働的・創造的に学ぶ環境づくりの構築

子どもの学びに向かう力、考え表現する力の向上

学校を開き、学校・家庭・地域の連携の活性化

ウェルビーイング※を目指した教職員の組織力の向上

- 人権教育プログラムを活用した学校生活
- 子供一人一人の理解と個に応じた指導の充実
- 学級経営・学年経営の充実と組織的な改善
- 「自己指導能力」の育成のため学級活動を基盤とした生活指導及び特別活動の充実
- 同学年・異学年との生産性・凝集性を高める活動の工夫

- 子供全員が参加できる授業
- 互いを認め合い・高め合えるために、人権教育の重視した授業
- ICTを活用し OODA ※ループの授業改善
- 問題解決学習や体験的活動の重視
- 各種学力テスト・体力テスト等の実施と分析・活用
- 評価活動の活性化

- 学校公開や保護者会の充実
- 道徳授業地区公開講座の内容の工夫
- コミュニティースクールを生かした開かれた学校づくり
- 幼保小及び小中連携
- 郷土愛の共創
- ホームページ、各種便り等の情報発信
- 学校評価に基づく学校改善

- 教職員自ら目標設定による実践
- 研究授業を中心とした校内研究の推進
- 市小学校教育研究会、各種研修会、発表会への積極的な参加
- 分掌に基づく「教育計画」の実践と改善
- 学校運営参画意識を高め、主体的・協働的な働き方改革の推進

オープン化

- 計画・実践の日常的な交流
- 子ども・保護者、教職員相互の相談体制の充実

システム化

- 主幹・主任等を機能させた問題解決型の学校運営
- O J Tを活用した人材育成

ネットワーク化

- 校内委員会を核にした教育支援ネットワークの構築
- P T Aや関係機関との連携

※ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良い状態にあること）

※OODA（Observe/Orient/Decide/Action 観察・理解・決定・実行）

※自己指導能力とは、児童生徒が、深い自己理解に基づき、「何をしたいのか」「何をすべきなのか」、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択・設定して、この目標を達成するため、自発的、自律的、かつ、他者の主体性を尊重しながら、自ら行動を決断し、実行する力